

東武宇都宮百貨店が知事賞

県子育てにやさしい事業所顕彰

再雇用登録などが評価

県保健福祉部ととちぎ未来づくり財団は15日、県庁昭和館で子育てと仕事の両立支援に優れた取り組みをしている県内9事業所に「子育てにやさしい事業所顕彰」の表彰状を

贈った。最優秀賞に当たる県知事賞は、産後の職場復帰などに先進的に取り組む東武宇都宮百貨店が選ばれた。同店は1986年に、妊娠や出産、育児を理由に退職した従業員を再雇用する制度を導入。これまで同制度

に登録した4人が職場に復帰した。同店は「再雇用の登録制度を整備している事業所は珍しい」としている。また高い育児休業取得率なども評価された。

同店の小林高行社長は取材に対し「再雇用制度は、従業員にとって復職できるメリットがあるだけでなく、会社にとっても優秀な人材を確保できる利点がある」と強調。「取り組みが評価されており育休取得率を上げた

いと抱負を述べた。このほかにも同財団理事長賞を8事業所が受賞。子連れ出勤の許可や育児休業中の研修推進などの取り組みが評価された。受賞事業所は次の通り。とちぎコープ生活協

- 同組合(宇都宮市)▽
- シーデーピージャパン(同)▽和田工業(同)▽マロン(鹿沼市)▽タツミ(足利市)▽五月女総合フロタクト(栃木市)▽DNAケラフィカ(同)
- (須藤健人)